



社会新報

(岡山県連合版)

2013年6月1日

社会民主党全国連合機関紙宣伝局(毎週水発行)

〒100-8909 東京都千代田区永田町1-8-1

(毎月1日発行)

TEL03-3592-7515 1部180円月700円〒160

岡山市北区弓之町5-7 Tel.086-226-1234

発行責任者 武本恒夫

http://www.sdp.or.jp/okayama/index.html e-mail: sdp_okayama@helen.ocn.ne.jp

公判傍聴記(矢吹)

安倍政権の「3本の矢」の3本目が成長戦略とされるが、「解雇条件」のさらなる規制緩和(正社員の解雇自由化)がすすめられようとしている。「ブラック企業」なる実態が紙面に登場したり、大手企業でも「追い出し部屋」が作られていたなど、「安心して、人間らしく働きたい」という状況にはますます厳しいものとなっている。

先日、退職強要を受けて裁判で闘う決意をしたSさんの裁判を傍聴した。新病院建設



中のK病院で設備関係を担当する課長職のSさんは、新病院完成後、事務長より降格を言われてトラブルとなった。その後は、仕事面でイジメを受けるようになった。そして、密室の中で事務長、副事務長、社労士の3者から就業規則を根拠に「勤続十年未満の者は60歳で退職」を強く求められた。Sさんは、納得がいかないと岡山地区労や弁護士に相談、裁判で戦うしかないと決意した。5月16日の公判には地区労や熟年者ユニオン、諸団体からもSさんを支援して公判傍聴をおこなった。

9条を全面否定し、国防軍や

「先参院・山口補選では、上関原発・岩国オスプレイ・格差社会の縮図である不況の実態などの争点隠しは、投票率38%で、ごく少数者により選ばれた忠臣議員によって全てを利する社会は民主主義的な専制政治で、かつてと変わらない」と低い投票率に民主主義の危機を述べた。

前の第一次安倍政権は①国民投票法②愛国教育の教育基本法改悪③防衛庁を省に、を一年で強行した。今回の政権に対して海外からは国粋主義者、歴史認識の希薄さ、集団的自衛権の行使など、政治手法への深刻な危惧が表明されている。

「新報」読者会

6月11日(第2火)18時

弓之町「時事問題懇話会」

6月21日(第3金)18時

いずれも同じ場所

社民党県連合会議室



「機能していない民主主義をどう立て直すか。そのため民意を反映させるための幾重もの担保と、いつでもリコールできるシステムをつくる。いきつこところは民主主義以外にない」と、私たちの課題を提起した。(文責 事務局)

党中国ブロック活動者交流会

6月15、2日(土・日)

広島県・庄原市

*詳細別途ご報告します。

メーデーで「号外」配布

2013メーデーに、今回初めて党の政策を訴えるピラを配布した。5月1日、旭川河川敷の会場、同じく津山地区と新見地区では連帯あいさつとオスプレイ反対ピラ・「新報」号外を配布、3日は、岡山ドームの連合メーデー参加者に配布。また、4月末から5月のゴールデン週間では、党集中行動として呼びかけ、「号外」戸別配布や街宣車で街頭からの訴えをおこなった。(左上:旭川河川敷、左下:岡山ドームの会場入り口で、下:津山、新見地区でのメーデー風景)

4・30憲法記念講演

「改憲から壊憲」の危機

岡山平和センター

講師・瀬瀬厚山 山口大学副学長



6・29岡山平和祭ごあんない

6月26日(水)~7月1日(月)

9:30~19:30

天満屋岡山店地下アートスペース

憲法96条改悪に反対する署名にご協力をお願いします。

軍事機密保護で国民の目をふさぐ準備がなされている。憲法前文では憲法理念が述べられているが全面改訂し「平和のうち」に生きる権利が削除され、憲法そのものをつぶしてしまおう考えだ。公共の秩序を国がやるかつてのやり方は、多数決ではなく民主主義の衣をまとった独裁国家といつても過言ではない。「近代憲法の原則である国家権力の濫用を防止し、監視する役割を放棄し、逆に国民監視と統制を全面にだした非近代憲法だ」と厳しく批判した。

法使いの呪文には力タカナ言葉がよく似合う。なにやらわからないからその気にさせるにはうまい手法のようだ。いまや流行語のアベノミクスは果してその類(たぐい)かどうか▼円安で企業競争力が強まり、株価急騰で全てハッピーと思いきや、外国投機筋の仕掛けで混乱と不安が浮かびあがった▼成長戦略をうたう第3の矢とやらも、内実は競争や解雇自由の拡大であったり、生活保護費の見直しなど、勤労者・市民にながもたらされるかは明らかである。それどころか、少しでも手を抜けば人間らしく生きる術を根底から奪われかねない▼大企業の儲けのためにばらまかれた財政は、99%の国民に届くどころか、ツケは次の第4の矢の消費増税で国民から回収される▼国民の反抗を抑える改憲もねらっている。参院選は全てで正念場だ。(の)